



地域と学校の協働防災授業が開かれました!!!

9月22日、榎葉町で初となる地域と学校が協働した防災授業が行われました!!! 当日は全ての小中学生や教員のほか、学校運営協議委員さんや、行政区や消防団の地域住民の皆さんなど、総勢300名近くが集まり、自分が住んでいる地域だけでなく、榎葉町全体の地形の特徴や災害に関して、地域の皆さんと共に学びました。特に第二部の、榎葉町を12のエリアに分けて行ったワークショップでは、防災マップに自分の家をマッピングした後、地域の皆さんに地区ごとの特徴をレクチャーしてもらい、その後は中学生が中心となって、いざという時の行動について話し合い。災害に関する具体的な知識だけでなく、自分の近所にどんな人が住んでいるのかを知る機会にもなりました。地域と学校が連携・協働した防災授業は今後も実施していく予定です。活動を通じて、地域の共助の気運が高まっていくといいなと思います。



第一部では、年齢に応じて、榎葉町全域における津波や土砂崩れなどの災害や、防災について学びました。第二部は体育館に集合



第二部のワークショップの様子。同じ地域に住む小中学生と地域住民とがマップをもとに地域の防災について話し合っています。

教育についてみんなで語り合う教育トーク開催!!!

10月11日の17時30分から19時まで、双葉郡では初となる大人と子どもたちが教育について語り合う「ならは教育トーク」が開催されました!!! 当日は松本町長や青木教育長といった行政関係者のほか、地域住民や保護者、大学生、小中学生など総勢30名が参加。5つのテーブルに分かれて、「20年後の町や教育」をテーマに語り合いました。特に驚いたのは子どもたちの意見。「大人になって榎葉に戻ってくるには、いろいろな夢が実現できる環境であってほしい」「町の魅力であるスポーツ施設などをもっと活かした活動をやってほしい」「大きな夢をもって、榎葉を飛び立っても、新しい子育て世代が来れば榎葉はずっと人が減らない町になる」など、大人もびっくり。子どもたちが班の意見をまとめて発表する姿を大人は頼もしく感じました。次回は12月13日(水)となります。ぜひご参加ください!



福島を代表して柵葉の小学生が防災について発表!

関東大震災から100年目の今年は、横浜市の横浜国立大学で「ほうさいこくたい2023」が開催されました。内閣府が主催し、全国から様々な自治体や団体、企業が参加しましたが、提携を結んでいる福島大学と共に柵葉小学校の6年生も代表として参加。福島県から初の小学生の参加となりました。内容は昨年度の「ならば震災の伝承と防災の週」で実施した地域の皆さんとの協働の取り組み。柵葉町の3.11や全町避難についても子どもたちは自分の言葉で語りかけ、来場した方が涙ぐんだり、子どもたちに声掛けをしたりする場面も多く見られました。ブースには、2日間で1000人以上の方がいらっしゃり、250名を超える方が子どもたちの発表やワークショップにも参加しました。6年生の姿を見て、早くも4・5年生は「自分たちも体験したい!!!」と意気込んでいます。柵葉の子どもたちの全国での活躍、楽しみです。



救命救急のやり方を学習



VRで大地震の様子を実感



防災ウォーク、防災迷路で緊急時の移動を体験



防災双六で楽しく学習



大盛況の柵葉ブース



立派に説明する子どもたち



来場者の目線に立って、丁寧にサポート。たくさんの人と関わりました。



地域の皆さんと一緒に園庭をきれいにしよう!!!

あおぞらこども園では、地域の皆さんと5歳の年長さんが一緒に園庭の雑草を取り除いたり、トラックを整備したりしました。当日は10人をこえる地域の皆さんが参加してくださり、仲良く協働。「運動会も見に来てね!!!」「応援してるからがんばれよ!!!」など、ほほえましい交流も見られました。地域とこども園との協働も進んでいます。



地域の皆さんと一緒に、園庭の雑草を取り除いています。

【地域学校協働センターからのお知らせ】

○ ならば探究トライアルデーの実施について

子どもたち自らが課題を設定し、解決に向けて情報を収集・整理・分析したり、保護者・地域の人たちと意見交換や協働したりしてすすめていく「探究学習」。11月から新たにスタートすることとなりました!!! 今年度は高学年の子どもたちのニーズから、エコバッグとゆずジュースをテーマに活動します!!! ぜひご協力ください!!!

【お問合せ先】 柵葉町地域学校協働センター（柵葉小学校1階） 猿渡 ・ 星

（直通）070-7421-5156 （教育委員会）0240-23-5515 kyoudou-n@town.naraha.lg.jp